

事故発生時の対応マニュアル 現地対応編 我孫子登山倶楽部

連絡優先順位	携帯	固定
1位 可児 慎一	080-3175-4540	04-7184-1034
2位 山田 京子	090-7737-1805	04-7182-7974
3位 三輪 達雄	080-3158-3654	04-7169-0970
4位 徳永 榮一	080-2385-4510	04-7183-9884

山行必携書類

1)計画書兼登山届 2)事故対応マニュアル 3)健康保険証

4)JRO カード

2023年4月遭難対策委員会作成

手順1 状況判断、事故者の確認

- 1)意識の有無、傷病の程度・内容(サブL又は参加者が行う)
- 2)リーダー(サブL)より指示を出す(L又はサブLが行う)
- 3)メンバーを安全な場所へ移動(Lが行う)
- 4)天候、時間、パーティの能力の確認(Lが行う)
- 5)現場状況の写真撮影、メモ(写真担当が行う)
(滑落した場所のマーキング)

手順2 事故者への対応

- 1)応急手当と経過観察(サブLが行う)
- 2)保温及びショック状態の軽減(サブLが行う)
- 3)付添人の選任(可能であれば2名以上)(Lが行う)
- 4)自力救出可能の場合⇒手順3を参照!
- 5)自力救出不可能の場合⇒手順4を参照!

手順3 自力救出可能

- 1)事故者の安全確認が一番(サブLが行う)
- 2)近くのパーティに応援を求める(参加者が行う)
- 3)事故者を安全に下山させる対策を検討(Lが行う)
(途中のピバーク体制も考慮する)
- 4)携帯電話で会長に状況報告する(Lが行う)
(通じない場合は、1~2名を先行させて、通話可能地域から連絡する)

手順4 自力救出不可能

- 1)事故者の安静場所の確保(Lが行う)
- 2)近くの山小屋またはパーティに応援依頼をする(参加者が行う)
- 3)ピバークの用意、装備・食料の確認(参加者が行う)
- 4)警察、消防への報告と救助要請(Lが行う)
- 5)携帯電話で会長に状況報告(Lが行う)
- 6)付き添いで残るメンバーを決定する(Lが行う)

報告事項(電話または緊急連絡カード)

緊急連絡カードはこのファイルの中にはありません

- 1)事故発生時の日時、場所、天候を記入する(L又はサブLが行う)
- 2)事故の内容(転倒、転落・滑落、病気など)を記入する(同上)
- 3)事故者の氏名、年齢、特徴(服装など)を記入する(同上)
- 4)傷病の内容、意識の有無を記入する(同上)
- 5)パーティの位置、装備、人数などを記入する(同上)
- 6)今後の行動予定を記入する(同上)
- 7)通報者の氏名、傷病者との関係を記入する(同上)